

教科 名	芸術	科 目 名	音楽Ⅲ	履修クラス	3年自由選択	
				担 当 者	松原 さとみ	
使用教科書		J o y o f M u s i c (教育芸術社)			履修単位数	2
副教材等		特になし (必要に応じてプリントを配布)				

学習のねらい・育てたい力・目標	評価の観点・評価方法など
生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てると共に、個性豊かな表現の能力を伸ばし、音楽的知識や理解を深めることを目標とする。進路希望実現のために、実技や音楽理論の専門的な技能を深く学ぶ。	<ul style="list-style-type: none"> ・器楽・ソルフェージュなどの実技試験 ・筆記試験 ・授業態度 (欠席・遅刻を含む) 以上の観点から総合的に判断をして評価を行う。

年 間 授 業 計 画			
月	予定 時数	単 元	学 習 内 容 ・ 学 習 活 動
4	中間 考査 まで 1 2	○オリエーション ○ソルフェージュ ・主要三和音の 聴き分け ○音楽理論 ○キーボード 他	<ul style="list-style-type: none"> ・読譜の基礎・聴音の導入 ・主要三和音の聴き分け ・音楽理論 (音名・拍子・音程・音階) ・キーボードでの楽曲演奏
5			
6			
7	期末 考査 まで 1 4		
9	中間 考査 まで 1 4	○音楽理論 ○簡易伴奏付け ○弾き歌い ○キーボード 他	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽理論 (調・和音とその種類・記号と標語) ・簡易伴奏付けとは? →簡易伴奏付けの理論・実技 ・キーボードでの楽曲演奏
10			
11			
12	期末 考査 まで 1 4		
1	学期 末考 査ま で 4	○1年間のまとめ	・1年間の総復習
2			
3			

担当者からのメッセージ (授業の受け方・家庭学習の仕方・受験勉強の仕方等)
<ul style="list-style-type: none"> ・音楽Ⅰ・Ⅱの内容は全て習得しているものとして授業を進める。 ・専門的な内容や座学が増えるため、各自授業内容の定着に毎回努めること。 ・題材に対して毎時間真剣に全力で取り組むこと。各題材での積み重ねが大切です。 ・教室移動があるため、遅刻・忘れ物には特に注意すること。 ・全ての活動に積極的に参加し、音楽を楽しみ、専門的な技能を伸ばす意欲を持って取り組むこと。 ※取り上げる題材や内容は、進度や状況などにより追加・変更することもある。